

令和元年度 蕨高校「持続可能な社会を生きるグローバル人材育成事業」 全体計画

2019/11/05 中口毅博

(1)主旨・目的

- ・地球レベルの問題・課題に関心を持ち、国際貢献や国際交流活動を実践している組織・個人への理解を深め、国際社会の一員としての自覚を持つきっかけを作る
- ・進路・職業と地球規模の課題(SDGs)を結びつけて考えることで、グローバル社会を生き抜くための主体性、創造力、課題解決能力を身につける一助とする

(2)方法

- ・国際交流団体やSDGs達成に貢献する団体・個人を招き、国際的課題の現状や実践活動の内容についての話を聴く
- ・現在もしくは将来自分にできる国際社会の課題解決について主体的に考える時間を設け、発表する場を設定する

(3)プログラム

回	第1回	第2回	第3回	第4回(案)	第5回(案)
日	10月31日(木)	11月11日(月)	11月21日(木)	11月25日(月)	11月28日(木)
時間	14:25～15:30(65分)	15:40～16:15(35分)	14:25～15:30(65分)	15:40～16:15(35分)	14:25～15:30(65分)
本時のねらい・到達目標	SDGsや世界の課題について理解し、自分の生活や将来の進路と結びつけて考えることができる	国際支援や在留外国人支援を通じてSDGsの課題解決に貢献する団体に関心を持つことができる	国際支援や在留外国人支援を通じてSDGsの課題解決に貢献する団体の活動内容について理解する	自分たちにできる自分が国際貢献や在留外国人支援活動について主体的に考え、意見交換する	自分たちにできる自分が国際貢献や在留外国人支援活動について発表し、意見交換する
作業形態	座学、個人作業	個人作業	個人作業	グループワーク	グループワーク
外部協力者	芝浦工業大学SDGs学生委員会の大学生	-	9つの国際貢献・交流団体・個人(別紙参照)、芝浦工業大学 中口毅博(コーディネータ)	-	芝浦工業大学 中口毅博(コーディネータ)
事前準備	説明資料、ワークシートの印刷	団体概要の印刷	配付資料(各団体が持参)	-	アンケート・振り返りシートの印刷
事前課題	-	-	-	ワークシートを完成させる	模造紙を完成させる
本時の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・座学:SDGsと世界の課題 ・ワーク:自分にできるSDGsの課題解決 ・座学:企業のSDGsの取り組み ・ワーク2:職業を通じての解決できるSDGsの課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク1:自分にできることや自分の関心のある職業について振り返る、 ・ワーク2:団体の説明資料を見て、自分がヒアリングしたい団体が含まれる組み合わせを第1希望から第5希望まで書く 	<ul style="list-style-type: none"> ワーク1:2つの国際貢献・交流団体・個人の説明を聞く ワーク2:ワークシートにヒアリング内容や自分にできること等を書く 	グループ内で、ワークシートに書いた内容を紹介し合い、グループとしての意見を模造紙にまとめる	各グループのまとめた内容をワールドカフェ方式で発表する。
事後課題	-	-	ワークシートを完成させる	模造紙を完成させる	アンケート・振り返りシートの完成
事後整理	-	クラスごと9つのグループを編成する	-	ワークシートのコピー、コーディネータへの送付	アンケートのコピー、コーディネータへの送付

(4)実施体制

芝浦工業大学の中口毅博氏、埼玉NGOネットワーク事務局長加藤陽一氏の調整・仲介のもと、県内を中心に活動する国際交流団体などの協力を得て実施する

令和元年度 蕨高校グローバル人材育成事業アンケート集計結果

令和2年1月14日
芝浦工業大学 中口研究室

1. 実施日

当日アンケート：令和元年10月21日、事後アンケート：10月28日

2. 回収数

1年生の全生徒に配布した。

当日アンケートの回収数は287、事後アンケートは356であった（無回答を含む）。

3. 比較対象

事後アンケートについては、芝浦工業大学環境システム学科の2年生を比較対象とした。当該学生に対しては、12月21日に実施された「次世代SDGsフォーラム」後の1週間で実施した。

4. 質問項目

質問項目は以下の通りである。

種類	項目	質問	選択肢
当日アンケート	Q1ヒアリング内容	ヒアリングした団体・個人の活動内容およびSDGsの課題解決への貢献内容を書いて下さい。	-
	Q2自分にできる活動	もし自分が国際貢献や在留外国人支援活動を個人や部活単位で実施するとしたら、どんなことができますか？ その内容について、3つまで具体的に書いて下さい。	-
	Q3貢献意欲	では実際に、今後国際貢献や在留外国人支援活動を、個人や部活単位で始めてみたいと思いませんか？ 番号にひとつだけ○を付けて下さい。	1. ぜひ始めたい 2. 機会があれば始めたい 3. しない・できない
	Q4 活動・体験したい団体	活動に参加したり、職業体験をしてみたいと思った団体・個人の番号にすべて○を付けて下さい。	1. 埼玉YMCA 2. IV-JAPAN 3. 民族フォーラム 4. JICA(国際協力機構)東京 5. 埼玉県国際交流協会 6. ギニアこころのクリニックとおにぎりの会 7. たかつか行政書士事務所 8. 芝園かけはしプロジェクト 9. 芝浦工大SDGs学生委員会
事後アンケート	Q1 自分事として考察	5回の授業の期間中(10/31~11/28)、世界レベルの課題と自分の日常生活とのつながりや、課題解決のために自分に何ができるのかを考えましたか	1)強く考えた 2)かなり考えた 3)少しは考えた 4)あまり考えなかった
	Q2 貢献意識	今まで以上に、将来国際社会の課題解決に貢献できるような人間になりたいと思うようになりましたか	1)非常に強く思うようになった 2)かなり思うようになった 3)少しは思うようになった 4)変わらない・そう思わない
	Q3 実践意思	世界や地域が抱えている問題の解決のために、自分にできることを新しく実践しようと思いませんか	1)今すぐできることを実践する 2)今すぐは無理だが、今後実践しようと思う 3)社会人になったら実践しようと思う 4)実践できない・しない
	Q4 貢献したいゴール	自分にできることを実践するとしたら、SDGsの何番目のゴールの達成に貢献したいと思いますか。(該当するゴールすべてに○を付けてください)	1)~17)SDGsの17のゴール 18) 該当するゴールはない

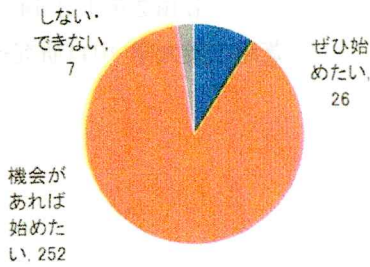
5. 集計方法

各設問の回答数を回収数で割って、比率を算出し、比較した。

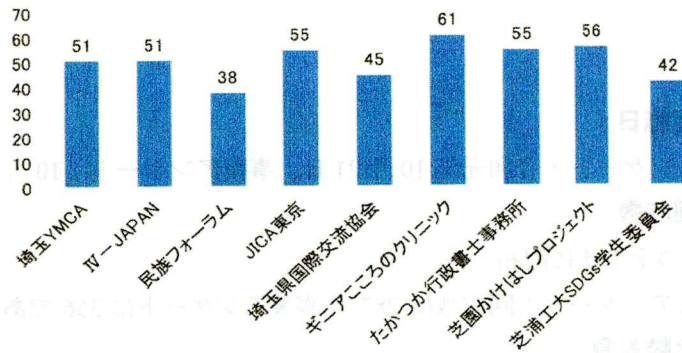
6. 集計結果

(1) 当日アンケート

①Q3 貢献意欲

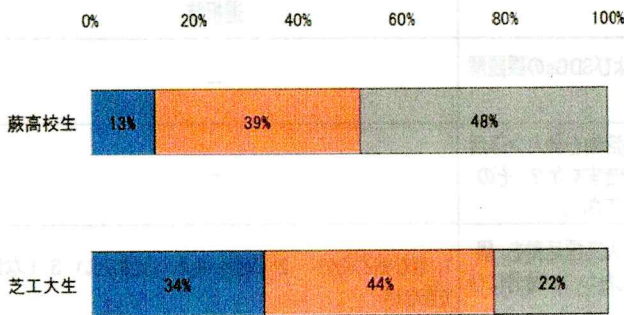


②Q4 活動・体験したい団体



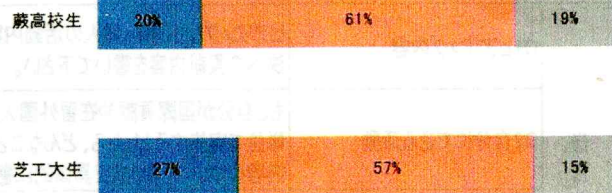
(2) 事後アンケート

①Q1 自分事として考察



③Q3 実践意思

0% 20% 40% 60% 80% 100%

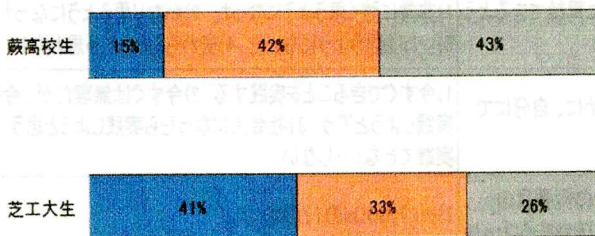


■今すぐできることを実践する
 ■今すぐは無理だが、今後実践しようと思う
 ■社会人になったら実践しようと思う
 ■実践できない・しない

■強く考えた
 ■かなり考えた
 ■少しは考えた
 ■あまり考えなかった

②Q2 貢献意識

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■非常に強く思うようになった
 ■かなり思うようになった

④Q4 貢献したいゴール

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80%

